

## 数量算出結果報告書

空中写真測量による起工測量を実施し、取得された点群データと設計データを使用して3次元点群処理ソフトウェアによる土量の算出を行った結果以下の結果となりましたので報告いたします。

### 1.計算方法

使用ソフトウェア

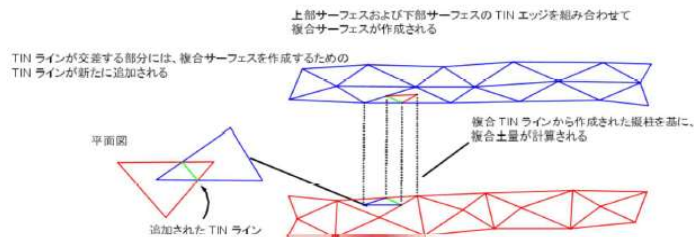
TREND-POINT (Ver.9)	3次元点群処理ソフトウェア
---------------------	---------------

計算方法

採用手法	種別	備考
	メッシュ法	
○	プリズモイダル法	三角網作成条件：0.01m

#### ③ プリズモイダル法

現況地形や出来形計測結果等(出来形計測データ、起工測量計測データ、岩線計測データ)からそれぞれの面データとしてTINからなる面データを作成し、面データのポイントの位置を互いの面データに投影し、各面データは本来の自身を持つポイントと相手のポイントを合わせたポイント位置により新たな三角網が形成され、この三角網の結節点の位置での標高差に基づき複合した面データの標高を計算する。面データの各TINを構成する点をそれぞれの面データに投影すると、各面データに同じ水平位置で標高の異なる点を作成される。その作成された点で再度面データを構築し、三角形水平面積と高低差を乗じた体積を総和したものの。



### 2.計算結果

工事区分・工種・種別・細別	単位	数量
1	m <sup>3</sup>	909.612
2	m <sup>3</sup>	472.635
合計	m <sup>3</sup>	1382.247

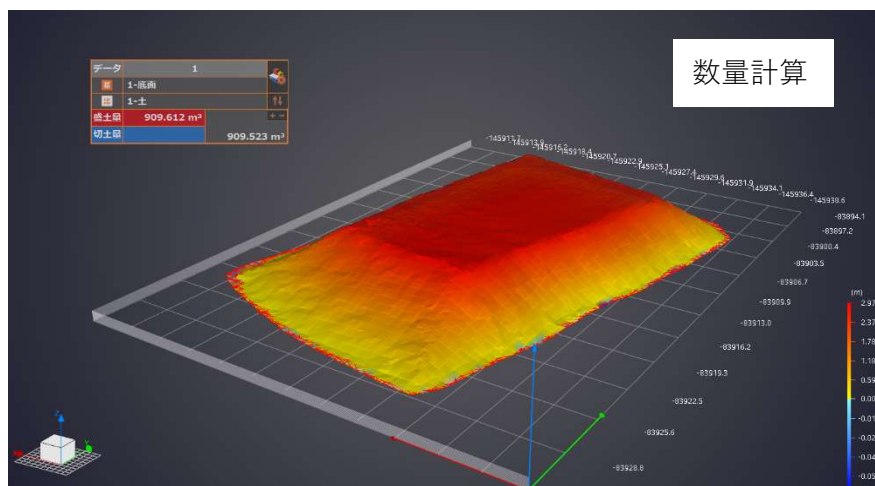
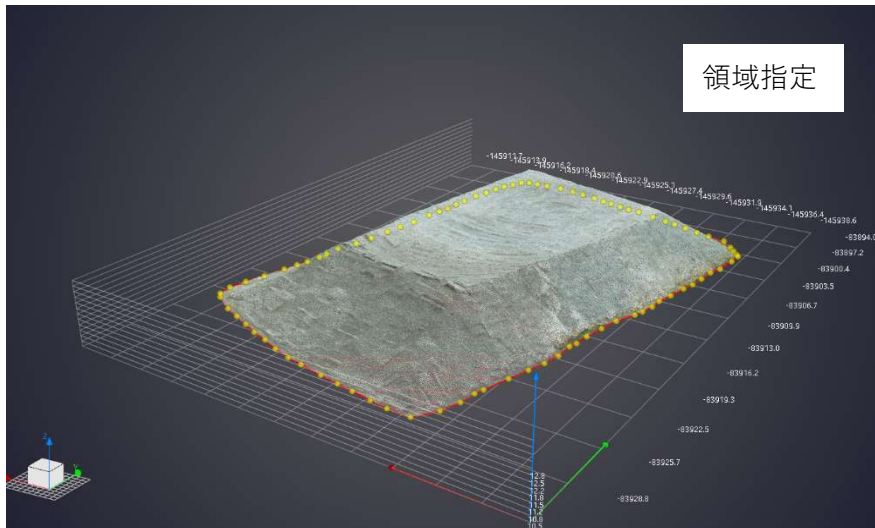
※添付資料参照

数量計算

施工範囲内の土量計算を行った。

UAVにて取得した点群データから盛土部分の数量計算を行った。

(例：1)



土量計算の結果以下の通りになった

データ	1	
基	1-底面	
比	1-土	
盛土量	909.612 m <sup>3</sup>	+ -
切土量	0.089 m <sup>3</sup>	909.523 m <sup>3</sup>

データ	2	
基	2-底面	
比	2-土	
盛土量	472.635 m <sup>3</sup>	+ -
切土量	0.589 m <sup>3</sup>	472.046 m <sup>3</sup>

※切土量は除外し、盛土量を採用する。